



## 合併60周年記念作文 コンクール入賞作品をご紹介します

町では合併60周年を記念して、未来の鶴田町を担う子どもたちの「郷土への愛着」と「まちづくりへの関心」を高めていくことを目的に、将来の町の姿を題材とした作文を募集しました。

今月号では、中学生の部の受賞作品をご紹介します（小学生低学年、高学年の部の受賞作品は10月号に掲載しています）。

### 僕が考える将来の 鶴田町

鶴田中学校2年  
佐々木そらさん

僕が住んでいるこの鶴田町は、とても良いところなんです。例えば、大きな災害もまったくいつていいほどなく、台風もほとんどないとても恵まれている町です。農産物の生産も盛んです。お米、スチューベン、リンゴなどと、とてもいいもののばかりがそろっている町です。

しかし、こんなにも良いところなのに、今の鶴田町はあまり知られていません。もつという人な人にこの鶴田町を知ってもらいたいと思います。

そのためには、もつと観光業を発達・成長させていくべきだと僕は思います。まずは、宿泊施設やホテルなどを造り、県外などの遠い所からでも手軽に鶴田に来れるような環境をつくるという所からだと思っています。鶴田町には、宿泊施設などが少ないので、せっかく来ても泊まる所が困ってしまうということが多々あると思います。僕にも思い当たる経験がありました。遠い所から親戚が来たのですが、泊まる場所がなく、結局、五所川原の方に泊まるということ

になってしまったということがありました。鶴田町にも、宿泊施設をもつと造るべきだと思います。

でも、いくら宿泊施設があっても、何か目的がなければ、鶴田町に人は来ません。人がもつと来るようにするには、鶴田町独自の何かをつくるべきだと僕は思います。

例えば、鶴田町の特産物などをたくさん使ったおいしい食べ物を開発するなどといったことが必要だと思います。すると、それを目当てに人が来る可能性はとて高くなると思います。鶴田町独自の食べ物「鶴田グルメ」を作るべきだと思います。

それから、何か大人も子どももお年寄りまでもが楽しめるような施設も造ると、もつという町になると思います。例えば、東京ディズニーランドとまではいかなくても、そのようなテーマパークを造ると、県外だけでなく、県内からもたくさんの方が鶴田町に来るようになると思います。

僕はそのテーマパークを造るのにふさわしいのは、富士見湖パークだと思います。とても広い面積があるので、最適の場所だと思います。テーマパークを造れば、青森県一の町になることができ、「鶴田町」を知る人がたくさん増えると思います。

このようなことをすれば、この鶴田町は、今の何倍も良い町になり、鶴田の名もたくさんの人に知ってもらえるようになると思います。なので、僕の大好きなこの鶴田町がもつともつと良い町になるのを、僕は心から切に願っています。

### 将来の鶴田町

鶴田中学校3年  
笹森 風花さん

私が考える将来の鶴田町は、今以上に明るく活発で、青森県一の元気な町です。

今の鶴田町にはすてきな所がたくさんあります。子どもからお年寄り、みんなで交流する場面が多いところ、おいしい野菜や果物を収穫できる場所、町の行事が盛りだくさんで楽しいところなど、他の市町村では味わうことができないことを鶴田町では味わうことができます。だから、私は毎日、鶴田町で過ごせて「うれしいな」「幸せだな」と感じます。

私が特に、「鶴田町っていいな」と思うところは、町民運動会や花火大会など行事で盛り上がるということです。町民が集まり、各地区ごとで優勝を目指して競



い合う運動会には、私も毎年参加していて、競技を楽しむだけではなく、みんなで協力しあうことができるし、たくさんの方民の方々と話すことができるので、とても良い行事だと思っています。そして、富士見湖の花火は大迫力で、観客からはたくさん歓声が聞こえるくらい美しいです。他の花火大会ではなかなか見ることができない水面に打ち上げる花火もとてもきれいです。このほかにも、ねぶた祭りやにぎりまんま合宿など、鶴田町ならではのさまざまな行事があり、町民も積極的に参加しています。

それから、鶴田町で育てて収穫した食べ物がすごくおいしいところもいいなと思います。道の駅「あるじゃ」へ行くと、鶴田町の野菜や果物がたくさん並べられていて、豊かな町だと



感じられます。そして、鶴田町といったらスチューベン。甘酸っぱくておいしく、食べたら止まらなくなるので大好きです。どの野菜や果物も安心して食べることができると、とてもおいしいので、鶴田町の自慢の一つです。

私はこのような鶴田町の良いところが、いつまでも続くと思っているし、続くように私も積極的に活動に参加していこうと思っています。今の鶴田町でも十分輝いているので、将来の鶴田町はさらに輝き、すてきな町になっていくはず。でも、

そのために自分は何をしようかと考えた、やはり、あいさつを快くできる人間になり、地域の方々と触れ合う時間を作ること、ごみ拾いをするなど、小さいことでもできることはやっていこうと思いました。そして、自分だけではなく、みんな

ができるように声がけもして、町民全体でより住みよい町にしていきたいです。それから、「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、みんながいつまでも健康でいられると良いです。

私は、大好きな鶴田町の将来が、ずっと平和で、町民の笑顔が絶えない、明るく楽しい町であることを願っています。そのために、私も町民の一人として住みよいまちづくりをしていこうと思います。

## 僕が考える将来の鶴田町

鶴田中学校1年

笹森 樹人さん

僕が考える将来の鶴田町は自然が多い町です。理由は、自然が多いと空気や水がきれいになるし、環境が良くなるからです。そうするために僕が今できると思うことが四つあります。

一つ目は、リサイクルをすることです。ペットボトルや使い終わった新聞やパックなどをリサイクルして、ごみを出さないようにすればいいと思います。他にも着なくなったズボンや上着などをぞうきんにしたりするのでもいいと思います。このよ

うにリサイクルをすると、ごみを少なくできて自然を壊さないことにつながり、その結果、環境が良くなって自然を増やすことにつながると思います。

二つ目は、木を植えることです。木を植えることは、自然を守ることもなるし、増やすことにもつながると思います。何よりも、町の人たちでやると、一人ひとりの意識が強まるし、

たくさんの人たちと交流を深めることができます。その理由は、町の大勢の人たちで協力をして物事を行うことによって、知らない人たちでも交流していくうちに、気軽に声をかけたりできたりと、気軽に人たちが仲良くなるからです。この木を植えることは自然を増やす取り組みにもなり、たくさんの人たちと交流を深めることにもなると思います。

三つ目は、自然を増やすだけではなく、自然を守る人もいなければならないと思います。その理由は、自然が破壊され続けているままでは、自然を増やしていつても何も変わらないからです。そのため、自然を増やしながら守る管理人が必要だと思えます。自然を守る人は、例えば、公園や草原などに捨ててあるタバコの吸い殻やお菓子の袋などのごみを拾い、水をきれいにする取り組みをするのいいと思

います。この自然を守る人がいると町がきれいになるし、町がきれいになることで、川の水などもきれいになり、ごみを拾うことで環境を守ることができると、自然を守りながら少しずつ自然を増やしていけると思います。自然を増やすだけではなく、自然を守るのも大切なことだと思います。

四つ目は、やはり一人ひとりが自然を多くするためにどうすればいいかを考えることだと思います。理由は、自然を守った増やしたりする取り組みをしていても何のためにしているのかを考えないと平気で道ばたにごみなどを捨てたりすることがあるかもしれないからです。そうならないために、どうしてこの取り組みをするのか、なぜこの取り組みをしなければいけなくなつたのかを考える必要があると思います。

このように、僕たちが今できることはいくつもあります。僕が書いたこと以外にもできることがあると思います。この自然を多くすることは町や川などをきれいにできるし、環境を守り、町の人たちとこのような取り組みをする、犯罪などを防ぐことにもなると思います。このような理由で、将来の鶴田町は自然が多い町になってほしいと思います。

## 有料広告を募集しています

「広報つるた」に掲載する有料広告を募集しています。毎月、町のほぼ全世帯（発行部数約5,000部）に配布され、多くの町民の方が目にします。新聞等と同様の宣伝効果が見込めます。有料広告掲載を希望される企業・団体の皆さまは、下記までお問い合わせください（なお、広告の内容によっては掲載できない場合もあります）。

### ■問い合わせ先

総務課 まちづくり班（内線264）

### 【有料広告】

車椅子に乗ったまま、乗車出来る介護タクシーです。

行きたい時に、行きたい処へあなたのお出かけのお手伝いを致します。

## 鶴田町の介護タクシー つがる

予約、お問合せ  
090-4563-8972

東北運輸局許可事業  
ヘルパー二級資格者